

工事名：那覇ふ頭泊地 (-9.0m) 浚渫工事 (R6)

質問内容

1. 岸壁前面の浚渫に該当する箇所の施工方法は契約後の協議でしょうか。
2. 土運船運搬 1 日あたりの運搬数量は浚渫数量と同じではなく割増と考えてよいでしょうか。
3. 週休 2 日補正、熱中症補正は当初より計上しますか。
4. 海上輸送に要する補正は『浚渫工事+1.28』でよいですか。
5. 水質汚濁防止膜の供用日数をご教示願います。
6. 水底土砂溶出試験の単価をご教示願います。
7. 施工実態調査とは、施工調査費(モニタリング調査) [港湾および海岸工事関係] ¥45000 のことでしょうか
8. 水質汚濁防止膜の強度規格をご教示願います。

※スペースが足りない場合は、適宜、用紙を追加してください。

回答)

1. 設計図書のとおり、岸壁前面まで浚渫することになります。
2. 土運船運搬1日当たりの運搬数量と浚渫数量は、同量と考えております。
3. 週休2日、熱中症補正は、計上しておりません。
4. 海上輸送に要する補正係数は、1.28です。
5. 汚濁防止膜の供用日数は、12日としております。
6. 別紙資料(溶出試験項目)を参照し、積算資料11月号P924及び建設物価11月号P861をご確認ください。
7. 施工実態調査の費用は、ご質問のとおりです。
8. 水質汚濁防止膜の引張強度は、1000未満を採用しております。